



# THE RECORD

2004.09  
No. 538

■ 会長交替のご挨拶

Special Feature

## IFPI 海賊版レポート 2004

● 連載Column: Music & Law

著作権の制限規定 ① 弁護士 前田 哲男



社団法人 日本レコード協会

## 会長交替のご挨拶

### 佐藤 修

この度、依田前会長の後任として、日本レコード協会の会長に就任致しました。急なお話でしたが、会員の皆様からご推薦いただき、長年にわたるレコード産業の経験を役立てることができればとの思いから、会長の重責を引き受けさせていただくことと致しました。

さて、レコード業界が置かれている状況を見ると、アメリカやイギリスは昨年末より回復基調に転じ、日本でも一部に明るい兆しが見えてきました。

レコード産業の役割は、健全な「音楽創造のサイクル」の活性化と、豊かな音楽文化を将来に向けて発展させていくことです。コンテンツの創造、保護、活用をうたった産業振興政策の下、多種多様な音楽レコードを国内の音楽ファンに楽しんでいただくとともに、アジアを中心とした海外との音楽文化交流にも積極的に取り組んでまいります。

そのため依田前会長が打ち出して実行してきた諸施策は、受け継いでまいります。特に、今後アジア諸国等との音楽文化交流の途を開く制度として導入が決まった「音楽レコードの還流を防止する措置」については、来年1月の円滑な運用開始に向けて取り組んでいくほか、著作権に関する教育・啓発活動、不正な音楽利用への対策、私的録音補償金制度の見直しなどの諸問題を優先課題として取り組んでまいります。

良質で幅広い音楽を提供していく上で、著作物の再販売価格維持制度の維持も重要なテーマであります。

最後になりますが、これからも自分が好きな音楽をできるだけ多くのファンと一緒に楽しみたい、音楽に対する「RESPECT」という気持ちを忘れることなく、会員の各レコード会社と力を合わせ様々な問題に取り組んでいきたいと考えております。

今後とも、関係各位のご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

### 依田 巽

昨年3月以来、およそ1年5カ月の間、当協会の会長を務めさせていただきました。

その間、日本のレコード産業が直面する諸課題に対し、「音楽創造サイクルの活性化」を基本軸に据えて、政府の知的財産立国に向けたコンテンツ・ビジネス振興策と連動しながら、協会活動、政府委員活動等を通じてレコード産業基盤強化のための諸施策を推進、実施してきました。

その大きな柱として、日本音楽の海外における積極展開と文化交流促進を目的とした「音楽レコードの還流防止措置」の導入を掲げ、多くの時間をその取り組みに投入しましたが、著作権法の一部改正によって制度として導入されることを見届けることができました。

この制度導入の実現は、今まで以上に強固になった関係諸団体との連携、国会の諸先生方のご理解とご支援、法案を作成された文化庁のご尽力、経済産業省、知的財産戦略推進事務局他のお力添え等々、政財官民が一体となって誠心誠意取り組んだ成果であり、どれが欠けても成し得なかったものと考えています。特に、立法過程における議論の中で、国会の諸先生方にはご自身のご苦勞を顧みず、知財立国の実現という国益の観点から制度実現にこの上ないご尽力をいただき、心強いかぎりでありました。まさに感謝の言葉が見当たりません。

私としては、一つの法制度、いわば「仏」を作る過程に携わることができ、大変幸せでした。来年1月からの運用、すなわち「魂を入れる」ことについては、他の課題と併せて佐藤新会長にお願いすることになりますが、強力なリーダーシップを発揮して道を切り開いていくくださるものと確信しております。

最後に、大変貴重な経験をさせていただいた私の在任中、多くの方々からお寄せいただきましたご支援ご厚誼に対し、この誌面をお借りして心から御礼申し上げます。



依田 巽前会長(左)と佐藤 修新会長

#### 表紙の楽器

### バンジョー

唯一のアメリカ固有の楽器と言われ、アメリカ音楽の歴史とともに発展してきた弦楽器。西アフリカをルーツに持つと言われるが、実際は19世紀の初め、オールドタイムやブルーグラスと呼ばれるアメリカ音楽の演奏のために、ギターなどの楽器を真似てつくった楽器がバンジョーの原型と思われる。アメリカの民謡調の歌曲の伴奏などで演奏されることが多いが、一般的に認知された楽器として、現代音楽の様々なシーンで聴くことができる。

## Contents

会長交替のご挨拶 .....	1
Special Feature	
IFPI 海賊版レポート 2004 .....	2
連載Column: Music & Law .....	7
廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004 .....	8
Topics & Information .....	9
レコードよもやまばなし .....	11
Monthly Production Report .....	12
今月の数字 .....	13
Gold Album+...認定 .....	14

# IFPI 海賊版レポート 2004

2004年7月、IFPI（国際レコード産業連盟）は、『レコード産業海賊版レポート2004』を発表しました。本レポートは、2003年の世界各国・地域の音楽市場における海賊版の状況についてまとめたものです。同年に世界で販売された海賊版は17億枚・巻に達し、IFPIはさらなる対策活動の強化に乗り出しています。



破棄される海賊版CD（ルーマニア）

## 世界の海賊版音楽の市場規模は45億ドル

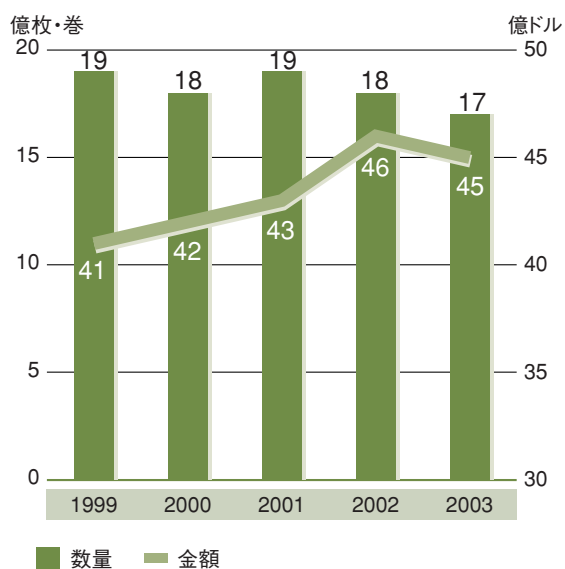
2003年の世界の海賊版音楽市場は金額で約45億ドル、数量では17億枚・巻にのぼると推定されます（図-1）。正規音楽市場に対する海賊版の市場規模（金額）は、1999年の11%から2003年には15%に拡大し、日本とアメリカを除くどの国の正規音楽市場よりも大きくなっているというのが現状です。

2003年の海賊版ディスクの販売数量は対前年比4%増となり、2002年に続き11億枚を超えました。これは2003年に世界で販売された音楽CDの35%に当たり、3枚に1枚は海賊版であることを示しています。また、カセットテープを含めると、販売された音楽レコードのうち、40%が海賊版となる計算です。

海賊版市場規模は、その販売価格に基づいて推計されているため、実際に音楽産業が被る損害は、この数字をはるかに上回ります。

フォーマット別では、カセットテープからディスクへ移行する傾向が続いており、海賊版カセットは対前年比で約25%減となりました。海賊版のうち、36%は工場で作られた海賊版CD、31%は違法に複製されたCD-R、33%が海賊版カセットテープという構成になっています。

図-1 海賊版音楽の市場規模推移



出典：IFPI

## 拡大を続ける海賊版音楽市場

### ■ 止まらない海賊版CD-Rの増加

海賊版に使用されるフォーマットは地域によって傾向が異なりますが、工場でプレスされる海賊版CDが多いのは、主にアジアとロシアです。2003年に押収された海賊版CDのうち約80%は東南アジアで押収されたものです。

一方、CD-Rを使った海賊版が多い地域としては、中南米、北アメリカ、ヨーロッパがあげられます。中南米では2,100万枚のCD-Rが押収されましたが、これは全世界で押収された枚数の3分の2にあたります。特に、過去4年間で海賊版CD-Rは急増しており、音楽産業に新たな問題を引き起こしています。CD-Rバーナーの複製スピードは高速化の一途をたどっており、今では74分のディスクを約3分で複製することができます。海賊版CD-Rについては、上記の他に、以下の特徴があげられます。

- ・海賊版CD-Rは工場で作られる海賊版CDに比べ、製造設備が小規模でかつ数が多いため、製造元の特典・発見が難しい。
- ・海賊版CD製造工場では、輸出用として世界のトップアーティストを対象としているのに対し、海賊版CD-Rは主に国内アーティストを対象にしている。
- ・海賊版CD-Rは、工場製造の海賊版CDよりやや販売価格が抑えられているため、海賊版ディスク全体の平均価格を引き下げている。



複製スピードの高速化が進むCD-Rバーナー

### ■ 光ディスクの過剰供給

海賊版ディスクが増加し続ける大きな要因の一つに、光ディスクの過剰供給があげられます。光ディスク製造に対しては各国政府による規定が不十分であり、正規需要をはるかに上回って供給されていることが、音楽レコードのほか、映画やコンピューターソフトなどの海賊版増加の要因となっているのです。IFPIの推計では、光ディスク工場は世界で約1,040存在し、過去4年間で約300の新しい工場が作られたと考えられます。

下記の国・地域では供給可能枚数が正規需要を9~30倍も上回っており、10ヵ国・地域を合計すると、過剰供給に当たる光ディスクは約194億枚に上ると推計されます(表-1)。

表-1 国・地域別光ディスク供給推定枚数(2003年)

国・地域	供給可能枚数 (百万枚)	正規需要枚数 (百万枚)	過剰供給枚数 (百万枚)
台湾	7,900	270	7,630
中国	4,900	1,100	3,800
香港	2,500	140	2,360
インド	1,900	400	1,500
マレーシア	1,860	60	1,800
シンガポール	620	60	560
ブラジル	630	140	490
タイ	570	27	540
ポーランド	500	150	350
ロシア	370	30	340

出典：Understanding and Solutions社

注：CD、DVD、CD-RW、DVD-RW、CD-R、DVD-R、Video CD含む。  
ただし、ロシアはCDおよびDVDのみ。



台湾の光ディスク工場

# IFPIの海賊版対策活動とその成果

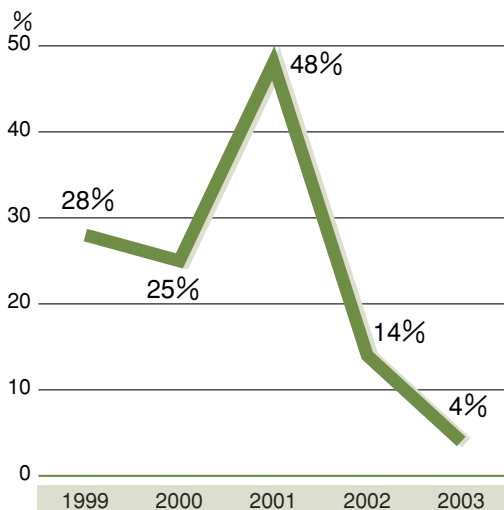
IFPIとナショナルグループでは国際海賊版対策チームを編成しています。ここでは、元警察関係者を含む約250名の調査員が、各国の政府、警察、税関との緊密な協力の下、活動を行っています。

## ■ 海賊版CDや複製機器の押収

2003年、IFPIでは約5,600万枚の海賊版CDの押収に関与しました(2001年は1,300万枚、2002年は5,000万枚)。

また、全世界で68の海賊版CD製造ライン(年間で約3億枚製造可能)を閉鎖、14,745台のCD-Rバーナー(年間で約4.2億枚製造可能)や海賊版CD製造用のブランクCD-R、ネットワークの押収も大幅に増加するなど、IFPIの取り締まり活動強化により、海賊版ディスクの拡大傾向にも鈍化の兆しが見られるようになりました(図-2)。

図-2 海賊版ディスク増加率(数量)



出典：IFPI

## ■ 科学的分析の実施

IFPIでは、科学研究所の協力を得て、顕微鏡検査による海賊版CD製造元の特定を行い、世界中の海賊版CD製造工場の追跡に活用しています。

2003年から2004年にかけては、独自の科学分析プログラムを設けている数カ国の政府と共同で活動を行い、海賊版CDの製造を行っている工場数カ所を新たに特定しました。またIFPIは、以前からモーション・ピクチャー・アソシエーション(MPA)と科学的調査の分野で協力関係にあり、MPA加盟会社の作品の海賊版DVDを製造していた工場の特定も行っています。この科学研究所では、2003年からIFPI関連の調査を行っているほか、MPAやビジネス・ソフトウェア・アライアンス(BSA)に関連する調査も実施しています。

## ■ 著作権強化に向けた国際協力

IFPIの活動は、政府の法執行機関や国際犯罪捜査機関の協力を得て行われています。2002年には、国際刑事警察機構(インターポール)によって、Interpol's Intellectual Property Crime Action Group (IIPCAG)が設立され、偽造品や著作権侵害に当たる製品増加への対策を行っています。IFPIでは協力活動の一環として、著作権法違反関連の捜査に携わる警察官へ向けた、『インターポールガイド』を作成しました。このガイドには偽造品の見分け方などが紹介されています。

また世界関税機関(WCO)の知的財産戦略グループとも協力関係を結び、世界各国の税関で知的財産保護の意識を促すための活動を展開するほか、毎年、海賊版が深刻な影響を及ぼしている国の税関を対象とした研修も行っています。

## ■ CD工場に対する指導と訴訟活動

IFPIは、海賊版音楽CDの製造を行う工場に対し、民事訴訟という新たな対抗策を打ち出しています。2003年12月、IFPIはロシアRussobit-Soft社に対し、総額で約137万ドルにのぼる7つの損害賠償請求訴訟を初めて提起しました。その後、同じくロシアにある海賊版CD工場のRoff Technologies社に対しても、同様の民事訴訟を起こしました。この2工場では、トップアーティストの海賊版CDを製造していました。IFPIでは、速やかに法的措置が講じられるよう、ロシア当局に強く求めていく予定です。

## 10の国・地域を重点的な海賊版取り締まりの対象として決定

昨年に引き続き、IFPIでは重点的な海賊版取り締まりが必要な国・地域として以下の10の国と地域をリストアップしました。これらの国・地域では、知的財産権の侵害が横行しており、海賊版の割合が非常に高くなっています。

ブラジル、中国、メキシコ、パラグアイ、パキスタン、ロシア、スペイン、台湾、タイ、ウクライナ

これら10の国・地域について、海賊版音楽の市場規模、正

規音楽の市場規模、海賊版の占める割合、海賊版増加率、正規品増加率をまとめました(表-2)。これらのデータは、IFPIの海賊版対策チームと各ナショナルグループによる情報、定量的基準による測定、近隣諸国および国際市場に対する各国海賊版音楽の影響、2003～2004年の政府による対策活動への評価等の要素を考慮し、作成されています。設定された項目は、各国の市場規模、2003年の海賊版の程度や海賊版および正規品の市場傾向を反映しています。

表-2 海賊版取り締まり重点強化国・地域の状況

国・地域	海賊版音楽の市場規模(USドル)	正規音楽の市場規模(枚・巻)	海賊版の占める割合	海賊版増加率(数量・対前年比)	正規品増加率(数量・対前年比)
ブラジル	1.27億	5,800万	52%	9%	-25%
中国	5.91億	7,600万	90%	20%	40%
メキシコ	1.81億	5,600万	61%	-19%	3%
パラグアイ	3,200万	10万	99%	-25%	-52%
パキスタン	3,000万	3,800万*	59%	-17%	—
ロシア	3.32億	1.16億	64%	-8%	2%
スペイン	5,800万	5,600万	24%	-7%	-13%
台湾	3,700万	1,500万	42%	-20%	-10%
タイ	2,800万	2,300万	35%	-16%	-20%
ウクライナ	4,200万	1,800万	8%	16%	4%

\*95%はカセットテープ

また、2003年の各国・地域内における海賊版音楽の割合は以下の通りです(表-3)。

表-3 世界各国・地域の海賊版音楽の割合(2003年)

10%未満		10～24%		25～50%		50%以上	
オーストラリア	イギリス	バーレーン	スペイン	チリ	サウジアラビア	アルゼンチン	リトアニア
オーストリア	アメリカ	ベルギー	トルコ	コスタリカ	スロバキア	ブラジル	マレーシア
カナダ		フィンランド	アラブ首長国連邦	クロアチア	南アフリカ	ブルガリア	メキシコ
デンマーク		香港	ジンバブエ	キプロス	台湾	中国	パキスタン
フランス		イタリア		チェコ	タイ	コロンビア	パラグアイ
ドイツ		オランダ		ギリシャ		エクアドル	ペルー
アイスランド		ニュージーランド		ハンガリー		エジプト	ルーマニア
アイルランド		オマーン		インド		エストニア	ロシア
日本		カタール		イスラエル		インドネシア	ウクライナ
ノルウェー		シンガポール		フィリピン		クウェート	ウルグアイ
スウェーデン		スロベニア		ポーランド		ラトビア	ベネズエラ
スイス		韓国		ポルトガル		レバノン	

出典：IFPI

## 韓国の不正コピー事情

韓国では、インターネット上の著作権侵害が激増しています。早急な対応が迫られる状況と、韓国政府の対応について紹介します。

韓国の音楽レコードの売り上げは過去2年間で44%減少し、ほぼ半分にまで落ち込みました。その主な原因は、世界的に見ても非常に普及率が高いブロードバンドによって、インターネット上の著作権侵害が急激に増加したこと、その一方で著作物のeコマースを管理するための法律が不十分であったためです。

マスメディアの報道によると、韓国には約500の違法ファイル交換サイト(P2P)が存在しています。国内最大のP2Pサイトには、1,000万人がメンバー登録しており、1,000から15,000もの同時アクセスが可能です。2002年7月には、韓国のP2Pサービスを行うSoribada社に対してサービス差し止め命令がなされましたが、同サイトでは新たな配信サービスを開始しており、現在も刑事訴訟は続いています。

もう一つの大きな問題は、不正なストリーム配信を行うサイトが横行していることです。この市場で55%を占める最大のストリーム配信サイトには1,000万人の会員登録が確認されています。

韓国政府は省庁間の共同プロジェクトとして、知的財産権保護の基本計画を打ち出し、知的財産権に関わる法律改正に向けて動き始めました。この計画は進展してはいるものの、WIPOインターネット条約の批准や全てのデジタル音楽配信をコントロールする権利付与を含む早急な著作権法改正など、レコード産業が要望している緊急ニーズに対応できていません。また、オンライン上での不正行為についても具体的な提案はなされていない状況です。

## 各国政府による海賊版音楽対策

IFPIの海賊版対策チームは、著作権法に基づいた保護と、海賊版取り締まりに向けた訴訟手続や救済制度を活動の基本にしています。IFPIは、適切な法律や執行手順、政府の積極的な関与が必要であると考え、国・地域に対して働きかけを行っています。

### 海賊版対策における重点事項

- ・厳格かつ最新の状況に対応した著作権法
- ・いかなる著作権侵害に対しても、迅速かつ抑止力のある措置が可能な法執行ルール
- ・光ディスク生産への規制
- ・著作権犯罪の起訴に対する政策的参加
- ・各国政府に対する国際的な働きかけ

## 海賊版音楽に関する5つのキーワード

### ● フリーローダー (freeloader : たかり屋)

安価な原材料費のみで行える海賊版音楽製造は、100%に近い利益を得ています。しかし、これは創造的役割を担う音楽産業に何ら価値をもたらすことはありません。

### ● 海賊版音楽の被害者

海賊版音楽は被害者なき犯罪ではありません。アーティストをはじめ、作詞・作曲家、レコード製作者、多くの税収を失う政府、そして創られる音楽が減ってしまうことによって、選択の幅が狭まってしまふ消費者も被害者なのです。

### ● 組織犯罪との関連性

海賊版音楽製造の多くは組織的に行われています。正規品の発売前に海賊版として販売されることは、貴重な知的財産

が流出するだけでなく、その利益が新たな犯罪への資金となることを意味します。法制度、法執行や刑罰が十分に整備されていないことが、この状況を助長しています。

### ● 地域文化への影響

海賊版音楽は地域文化の発展に悪影響を及ぼしています。海賊版が横行している中国、インド、アフリカ、中近東、東ヨーロッパでは、才能あるアーティストが地元のレコード会社と契約できない、ツアーなどの活動だけで困難な生活を強いられるなど、地域の音楽文化に大きな損害がもたらされています。

### ● 世界的な問題

海賊版音楽の製造も国際化が進んでいます。これに対抗するには、政府間の協力が不可欠です。



前田 哲男 (まえだ てつお)

1961年和歌山県出身。84年司法試験合格。85年東京大学法学部卒。87年弁護士登録。以後、映像、レコード、ゲームソフト、ソフトウェア、書籍等の著作権関係を中心とする法律事務に携わる。現在、当協会顧問弁護士を務めるほか、文化審議会著作権分科会専門委員、早稲田大学社会人大学院非常勤講師、社団法人コンピュータソフトウェア著作権協会理事、不正商品対策協議会監事、社団法人映画産業団体連合会監事などを兼任。

## 著作権の制限規定 ①

著作権とは、「複製権」「上演・演奏権」「上映権」など著作権法21条から28条までに定められている権利の総称である。一つ一つの権利を「支分権」という。

支分権の対象となる行為（複製権については「複製」行為）は、基本的には著作権者自身か、著作権者から許諾を得た者でないで行ってはならない。何が支分権の対象となる行為かは法律で決まっているが、その決め方は、「複製権」とそれ以外の支分権とで違っている。

複製権は、基本的には著作物の複製全般に及んでいる。それに対し、複製権以外の支分権（例えば「上演・演奏権」や「上映権」など）は、公衆に対して行う行為に対象を限定している。公衆に聞かせる目的がない「演奏」は、そもそも「上演・演奏権」の対象でない。だから、誰でも勝手に行うことができる。自宅のお風呂場で鼻歌を歌うのが著作権侵害にならないのは、そのためである。

しかし、複製権だけは別だ。「公衆」との接点がない場合でも、およそ複製行為であれば、複製権の対象となり得る。複製は著作物利用のなかでも基本的なものであり、権利を強く認める必要があるからである。

ならば、著作権者が許諾していない複製はすべて違法になるかというと、そうではない。法律は、支分権の対象となる行為でも、例外的にその権利の及ぶ範囲を制限する規定を設けている。これが「著作権制限規定」

である。その中でも特に有名なのが、著作権法30条だ。いわゆる「私的複製」には複製権が及ばないと定めた条文である。個人的・家庭内又は家庭に準じる限られた範囲内での使用を目的とする場合には、使用する者が「複製」できるとされている。

「権利制限規定」は、法律で定めれば何でもよいというものではない。国際条約により、法律で著作権（複製権など）を制限するには、いわゆる「スリー・ステップ・テスト」を満たすことが必要とされている。つまり、「著作物の通常の利用を妨げず」「著作者の正当な利益を不当に害しない」「特別な場合」という3つの要件を満たす場合にだけ、著作権を制限できるとされているのだ。

こういう観点から見ると、著作権法30条で認められている（かもしれない）私的複製の範囲は、広すぎるのではないか、という気がしてならない。たしかに、私的複製のなかには、著作権者の許諾を不要とすべきものが含まれている。しかし、私的複製の名のもとで、商業用CDに対する需要がコピーによって満たされてしまっているとすれば、それはおかしいのではないか。次回でこの点をもう少し詳しく書いてみたい。



秋・春2回開催

## 「廃盤CD大ディスカウントフェア レコードファン感謝祭2004」

当協会加盟26社は、インターネットを利用した通信販売による「廃盤CD大ディスカウントフェア ～レコードファン感謝祭2004～」を下記概要にて年2回開催します。

この廃盤セールは、音楽・レコードファンの皆様へ日頃の感謝の気持ちを込めて当協会加盟各社のレコードを特別価格にてご提供するもので、1992年から毎年秋に実施しています。おかげさまで毎年多くの音楽ファンの皆様からご好評を頂いており、今年で第13回を迎えました。



■名称:	「廃盤CD大ディスカウントフェア ～レコードファン感謝祭2004～」
■開催日程:	第1回 2004年10月28日(木)～11月10日(水) 10月1日(金)から告知サイト開始、10月13日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。 商品のご注文受付は、10月28日(木)午前9時から開始します(先着順)。  第2回 2005年1月27日(木)～2月9日(水) 11月11日(木)から告知サイト開始、1月12日(水)から事前の商品閲覧とユーザー登録ができます。 商品のご注文受付は、1月27日(木)午前9時から開始します(先着順)。
■主催:	社団法人日本レコード協会加盟メーカー26社
■協賛:	社団法人日本レコード協会
■運営:	株式会社 ジャパン ミュージック データ
■出品:	CD(8cm・12cm)、カセットテープ、アナログディスク、ビデオ
■出品数:	2回合計6,500タイトル 100,000枚(予定)
■販売価格:	廃盤:定価の70%OFF ※その他、輸入盤・時限再販期間経過商品を割引特価で販売。
■URL:	http://fair.jmd.ne.jp ※ 詳細は、ホームページをご覧ください。 (10月1日から告知サイト開設予定)
■お問い合わせ先:	Eメール: fair@jmd.ne.jp

# Topics & Information

## 「トーク&コンサート2004 in 千葉」開催のお知らせ

当協会を含む音楽関係9団体で構成する不法録音物対策委員会は、10月15日(金)に千葉県教育会館において、「トーク&コンサート 2004 in 千葉」を開催します。

「トーク&コンサート」は不法録音物対策委員会が実施する「不法録音物撲滅キャンペーン」の一環として、各種音楽教室関係者を対象に、作家やアーティスト、制作現場から、著作権の大切さを伝えるイベントとして全国各地で開催しているものです。今回は、「あふれる想い、メロディー…あなたの耳に届くまで」をキャッチフレーズに、歌唱レッスン、ミニコンサート、ビデオ上映、トークショーが催される予定です。



- 日時： 10月15日(金)  
開場17:30 開演18:00
- 場所： 千葉県教育会館(千葉県千葉市)
- 出演： 鈴木 淳(作曲家)、仁井谷俊也(作詞家)、  
水川忠良(ディレクター)、椎名佐千子(歌手)
- 司会進行： 吉川精一
- 入場料： 無料  
(官製はがきかFAXで応募の方に整理券を配付)
- お申し込み・お問い合わせ先：  
(社)日本音楽著作権協会 録音二課  
〒151-8540  
東京都渋谷区上原3-6-12  
TEL 03-3481-2169 FAX 03-3481-2151
- 申込締切： 9月30日(木) 消印有効  
※応募者多数の場合は抽選となります。

## 「A&Vフェスタ 2004」開催のお知らせ

(社)日本オーディオ協会は、9月22日(水)~25日(土)の4日間、パシフィコ横浜展示ホールにおいて、音楽と映像のリアリティを追求する「A&Vフェスタ 2004」を開催します。

「A&Vフェスタ」は、新技術の提案を通してオーディオとビジュアルの文化に貢献し、オーディオビジュアルシステム市場の創造と拡大を目的に開催されているものです。昨年から会場を横浜に移し、今回は、国内主要メーカー各社のブースで新製品の展示、新技術の紹介が行われるほか、著名人によるトークセッションやイベントも行われる予定です。また、より多くの方々にご来場いただけるよう、今年から入場無料となりました。

当協会では、「A&Vフェスタ」への後援と同時に、「音楽を聴く、観る」をメインテーマにしたブース出展を予定しています。

- 日時： 9月22日(水)~25日(土)  
10:00~18:00
- 場所： パシフィコ横浜 展示ホール
- 入場料： 無料
- URL： <http://www.jas-audio.or.jp/festa2004/index.html>
- お問い合わせ先：  
(社)日本オーディオ協会  
TEL 03-3546-1206  
Eメール [festainfo@jas-audio.or.jp](mailto:festainfo@jas-audio.or.jp)



公式ウェブサイト



## シンガポール/WIPO合同トレーニング開催

シンガポール政府とWIPO(世界知的所有権機関)は、「音楽産業における著作物と関連する権利から生み出される創造的価値」という合同研修コースを、8月16日から24日までの9日間にわたり、シンガポールにおいて開催しました。

この研修コースは、アジアにおける文化芸術の振興に向け、音楽産業の著作権および関連する権利の権利者と政府関係者の協調した取り組みを促進するために行われたものです。また、作詞・作曲家、実演家、レコード製作者等の権利や権利行使に対する理解を深めるとともに、社会経済と文化の成長にとって、文化芸術分野において音楽産業が担う役割が重要であることについて国の認識を深める目的でも行われました。

そのため、研修コースには、アジア近隣諸国の政府、音楽著作権管理団体、実演家、音楽関係団体等の関係者が参加しました。

なお、WIPOから当協会に研修コースへの講師派遣の依頼を受け、「音楽とアーティストの販売促進戦略、音楽販売店等の役割」と「音楽産業の最前線：携帯電話」の2つのセッションに、当協会から今村二郎広報部担当部長と畑陽一郎法務部課長が講師として参加し、日本の状況についてプレゼンテーションを行いました。



セッションの様子

## 当協会会長選任について

当協会依田巽会長は、8月3日付けで当協会会長を辞任いたしました。これを受け、当協会は9月2日に臨時総会を開催し、新会長として佐藤修理事(株式会社ポニーキャニオン代表取締役社長)を選任いたしました。

佐藤修理事は、これまで当協会理事を13年以上務め、その間、副会長、日本ゴールドディスク大賞実行委員会委員長等数々の要職を歴任してきました。

なお、任期は2004年9月2日から2006年5月31日までとなります。

## 当協会理事人事

下記の人事がありましたので、お知らせいたします。

<新任>(8月25日付)

理事：小林 敏雄

エイベックス株式会社 代表取締役社長

## 新会員社加盟のお知らせ

8月1日付けで、当協会賛助会員として、(株)アニプレックスが入会しました。

株式会社アニプレックス

代表取締役：竹内 成和

住所：〒102-8353

東京都千代田区六番町4-5

TEL：03-5211-7555

## 会員社移転のお知らせ

当協会会員の(株)ワーナーミュージック・ジャパンが下記住所に事務所を移転しました。

新住所：〒107-8639

東京都港区北青山1-2-3 青山ビル3F

TEL：03-6439-8600

## 立ち聴き店の時代

今回より、レコードにまつわるさまざまな逸話を取り上げて、不定期でご紹介します。

エジソンが、錫箔を円筒に巻き付けるタイプのシンプルな蓄音器を発明したのは、1877年。その後、数年のうちに、これは蝋を記録素材に使う蝋管器に発展し、また10年後にはベルリナーにより、平円盤型のレコードを使う「グラモホン」と名づけられた蓄音器が生まれている。今のレコードシステムの原型といえるものだ。米国で産声を上げた蓄音器の草創期の歴史には、かなり複雑な発明・特許・産業化のエピソードがあって面白いが、それは別項に譲り、ここでは、日本のレコード産業が立ち上がった頃の様子をのぞいてみたい。

日本に蝋管の蓄音器が入ってきたのは、1886年(明治19年)といわれ、1890年には、エジソンから明治天皇に蝋管器が献上されている。さらに1891年、早くも国産の蝋管式蓄音器が作られている。レコードの歴史を振り返ると、日本は当初から相当の最先端モードにあった。

実際のレコードビジネスの始まりは、今からおよそ100年余り前。輸入ものの蝋管式蓄音器が出回り始めた1890年代後半に遡る。松本武一郎、片山潜(後に社会主義者として名を馳せる)、横山進一郎の3名が1899年に開業した日本初の蓄音器専門店、東京・浅草の「三光堂」では、後に日本コロムビアの生みの親となるF.W.ホーンが主宰する横浜の「ホーン商会」の斡旋を受けて、輸入品の蝋管の販売を始めた。しかし、当時の日本では洋楽を聴く顧客層はなく、なかなかうまくいかない。創業メンバーも脱退して、ただ1人残った松本武一郎は、人気のあった小唄などの邦楽を蝋管に吹き込んだオリジナル商品を使う新しいビジネスを考

案し、発展を期す。浅草公園六区の藤棚の下に立ち聴きの店を設け、自社オリジナル蝋管を耳管で聴かせるというものだ。蝋管1本の聴き料は5銭~10銭。白米1升の価格が10銭台の頃で、今に換算すると結構な料金である。しかし、この試みは大当たりで、人気を博した。

藤棚の下で音楽を立ち聴きさせるという、いかにも風流な趣向は、実に日本的であり、独創的な音楽の楽しみ方である。もの珍しさだけではない、当時の人たちのライフスタイルに沿った楽しみ方だったからこそ、成功したのではないだろうか。今、当時とは全く比較できない飛躍的な技術の進化により、レコードそのものや音楽を聴く環境はすっかり様変わりした。しかし、立ち聴きの店で1本の蝋管に聴き入る人たちの姿を想像してみると、ポータブル機器で音楽を聴き、携帯電話で着うたを鳴らし、デジタル試聴機で音楽を選ぶ、今の人たちの姿に妙に重なって面白い。



当時輸入されていたものと同型の蝋管式蓄音器  
グラフフォン・タイプQ(米コロムビア社 1898)

# Monthly Production Report

## 2004年7月度レコード生産実績

7月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比94%の2,970万枚、金額で前年同月比102%の371億円となりました。内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比90%の2,686万枚、金額で前年同月比96%の320億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比187%の284万枚、金額で前年同月比177%の50億円となっています。

### ● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

			7月実績					2004年(1月~7月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
シ ン グ ル	8cmCD	邦	626	2	18%	64	0	15%	10,312	6	129%	942	0	52%
		洋	2	0	475%	0	0	362%	1,460	1	36747%	136	0	8541%
		計	628	2	18%	64	0	15%	11,772	7	148%	1,078	1	59%
	12cmCD	邦	6,925	26	99%	5,479	17	98%	38,509	22	96%	29,181	14	95%
		洋	80	0	169%	60	0	141%	467	0	71%	379	0	69%
		計	7,005	26	100%	5,539	17	98%	38,976	22	95%	29,560	14	95%
	小計	邦	7,551	28	72%	5,543	17	92%	48,821	28	101%	30,123	14	93%
		洋	82	0	172%	60	0	141%	1,927	1	291%	515	0	93%
		計	7,633	28	73%	5,603	17	92%	50,748	29	104%	30,638	15	93%
12cmCD アルバム	邦	12,644	47	99%	18,021	56	100%	79,762	45	96%	116,799	56	96%	
	洋	5,626	21	100%	7,686	24	90%	40,343	23	97%	56,007	27	91%	
	計	18,269	68	99%	25,707	80	97%	120,105	68	96%	172,806	83	94%	
CD 合計	邦	20,195	75	87%	23,564	74	98%	128,583	72	98%	146,922	70	95%	
	洋	5,708	21	101%	7,746	24	91%	42,270	24	100%	56,522	27	91%	
	計	25,902	96	89%	31,311	98	96%	170,853	96	99%	203,444	98	94%	
アナログ ディスク	邦	26	0	27%	31	0	28%	557	0	186%	193	0	59%	
	洋	125	0	823%	17	0	94%	211	0	404%	157	0	280%	
	計	151	1	139%	48	0	37%	767	0	219%	350	0	91%	
カセット テープ	邦	775	3	91%	621	2	96%	5,499	3	79%	4,328	2	77%	
	洋	1	0	86%	1	0	88%	11	0	78%	7	0	67%	
	計	776	3	91%	622	2	96%	5,510	3	79%	4,336	2	77%	
その他	邦	5	0	31%	5	0	34%	150	0	70%	175	0	113%	
	洋	26	0	445%	52	0	395%	162	0	102%	318	0	114%	
	計	32	0	140%	58	0	199%	312	0	83%	493	0	114%	
合計	邦	21,001	78	87%	24,222	76	97%	134,788	76	97%	151,617	73	95%	
	洋	5,861	22	103%	7,817	24	91%	42,653	24	101%	57,004	27	91%	
	計	26,861	100	90%	32,039	100	96%	177,442	100	98%	208,621	100	94%	

### ● 音楽ビデオ

			7月実績					2004年(1月~7月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			2,694	95	197%	4,751	94	194%	16,441	95	118%	27,890	95	110%
LD・その他			73	3	91%	101	2	63%	459	3	74%	713	2	63%
テープ			72	3	99%	178	4	78%	322	2	34%	725	2	27%
合計			2,838	100	187%	5,030	100	177%	17,221	100	111%	29,329	100	101%

### ● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

			7月実績					2004年(1月~7月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			26,861	90	90%	32,039	86	96%	177,442	91	98%	208,621	88	94%
音楽ビデオ			2,838	10	187%	5,030	14	177%	17,221	9	111%	29,329	12	101%
合計			29,699	100	94%	37,069	100	102%	194,663	100	99%	237,950	100	94%

### ● ビデオ(含音楽ビデオ)

			7月実績					2004年(1月~7月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD			10,873	94	178%	16,801	90	200%	74,392	94	147%	95,693	86	134%
LD・その他			73	1	71%	101	1	58%	506	1	59%	748	1	57%
テープ			602	5	68%	1,681	9	63%	3,826	5	66%	14,863	13	67%
合計			11,548	100	163%	18,583	100	165%	78,723	100	138%	111,304	100	117%

### ● オーディオ/ビデオ合計

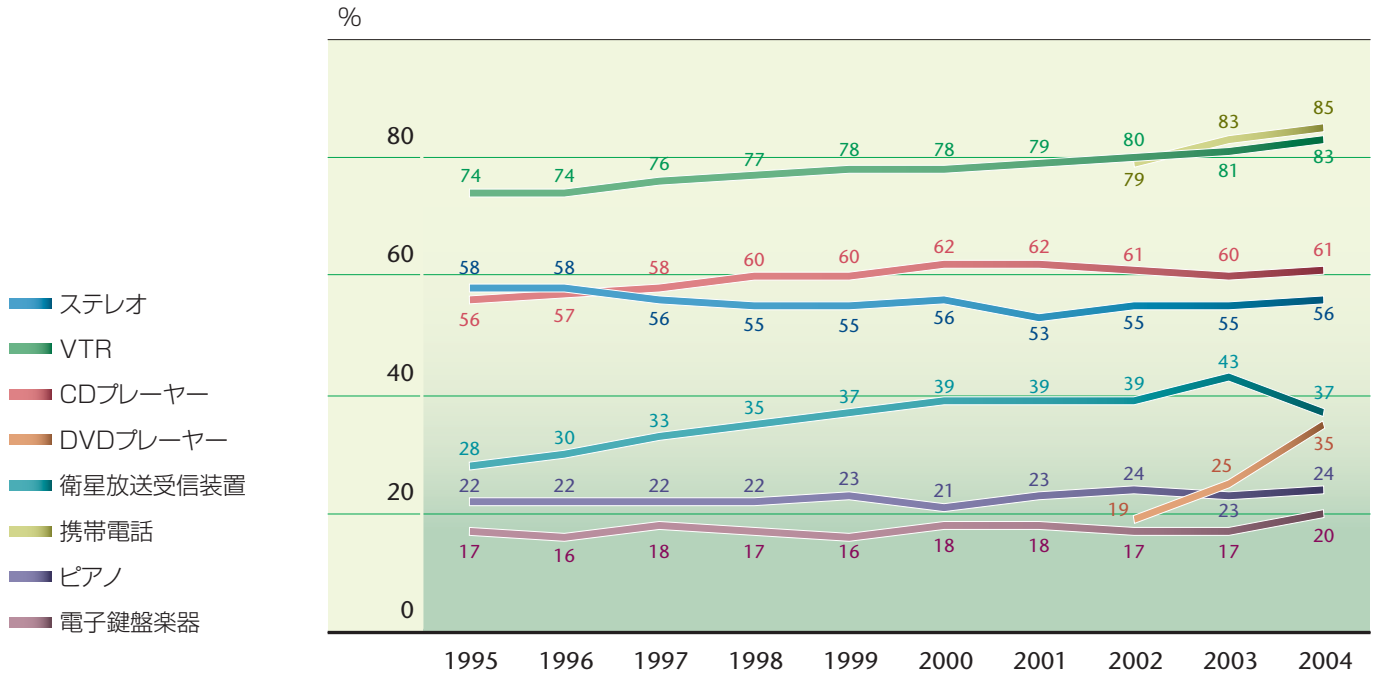
			7月実績					2004年(1月~7月)累計						
			数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ			26,861	70	90%	32,039	63	96%	177,442	69	98%	208,621	65	94%
ビデオ			11,548	30	163%	18,583	37	165%	78,723	31	138%	111,304	35	117%
合計			38,409	100	104%	50,622	100	113%	256,164	100	108%	319,926	100	101%

備考 1. 上記実績は、会員会社「41社」の集計。当会員会社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。  
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。  
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

## 耐久消費財の保有状況と消費者物価指数との比較

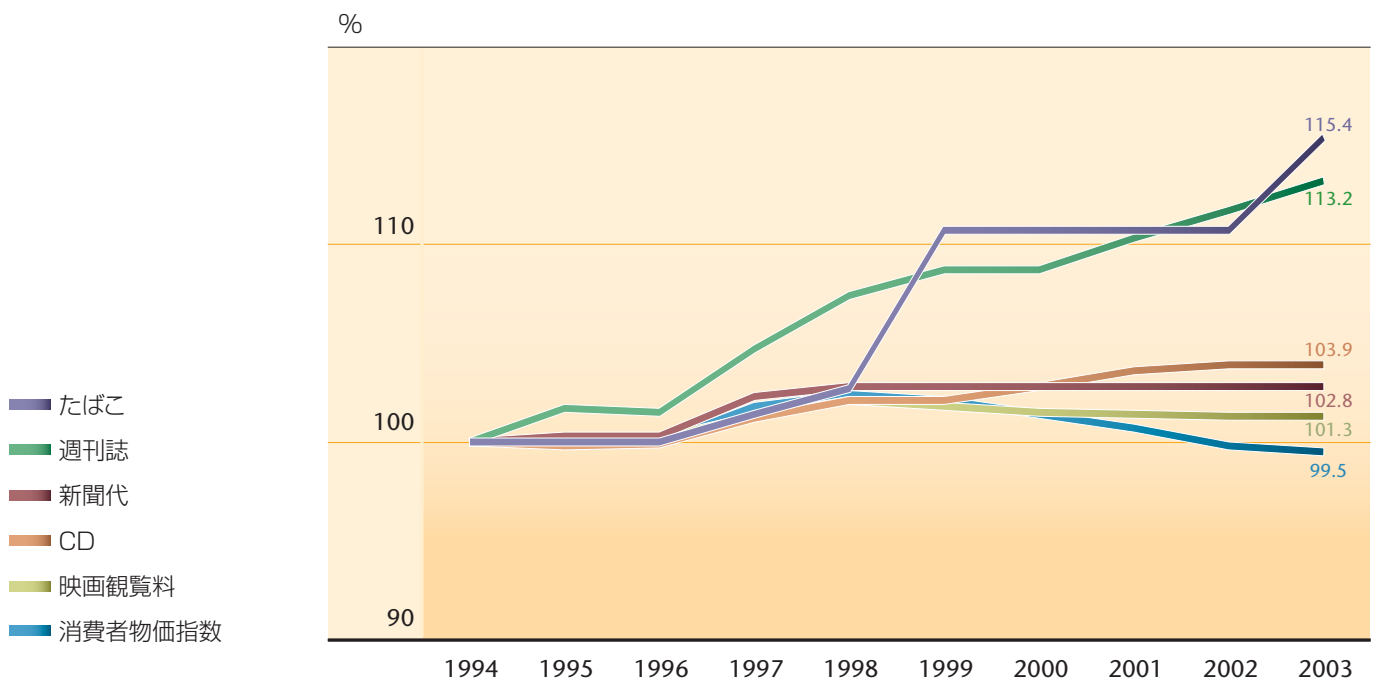
2004年3月の消費動向調査結果は、レコード産業に関連のある耐久消費財の普及率が、衛星放送受信装置を除き前年度と比べて上昇しました。特にDVDプレーヤーはこの3年間で19.3%→25.3%→35.4%と急伸しました。また、消費者物価指数は1999年以降5年連続の下落となっていますが、CD(邦盤アルバム、J-POP)、新聞代、映画観覧料は前年度と比べて横ばいとなりました。

### ● 主要耐久消費財普及率の推移



資料：内閣府経済社会総合研究所景気統計部「消費動向調査」

### ● CDと物価の価格指数の比較



資料：総務省統計局「消費者物価指数年報平成15年」

# Gold Album +... 認定

2004年7月度

7月度ゴールドアルバム等認定では、Ryu / Sun「冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック」、シングルで、平井 堅「瞳をとじて」、Mr.Children「Sign」がトリプル・プラチナを達成しました。

## 邦楽

### アルバム

#### ● ダブル・プラチナ

PORNO GRAFFITTI BEST RED'S	ボルノグラフィティ	2004.07.28	SE
PORNO GRAFFITTI BEST BLUE'S	ボルノグラフィティ	2004.07.28	SE

#### ● プラチナ

CK5	Crystal Kay	2004.06.30	ES
Do You Know ?	nobodyknows+	2004.06.30	AI
Single collection	矢井田 瞳	2004.07.28	TO

#### ● ゴールド

2004 A.I.	AI	2004.06.16	UM
いざっ、Now	嵐	2004.07.21	JA
夕焼けファルセット	175R	2004.07.21	TO
w-inds.~besttracks~	w-inds.	2004.07.14	PC
君にBUMP	ケツメイシ	2004.07.28	TF
ARCADIA	Janne Da Arc	2004.07.07	AVT
夏景色	TUBE	2004.07.22	AI
THE BEST OF TV ANIMATION SLAM DUNK ~Single Collection~	V.A.	2003.07.21	BG

### シングル

#### ● トリプル・プラチナ

瞳をとじて	平井 堅	2004.04.28	DF
Sign	Mr.Children	2004.05.26	TF

#### ● ダブル・プラチナ

ロコローション	ORANGE RANGE	2004.06.09	SR
桜	河口恭吾	2003.12.10	WJ
希望~Yell~	NEWS	2004.05.12	JE

#### ● プラチナ

Wonderland	稲葉浩志	2004.07.14	BM
君こそスターだ／夢に消えたジュリア	サザンオールスターズ	2004.07.21	V
WAVER	堂本 剛	2004.06.09	JE
INSPIRE	浜崎あゆみ	2004.07.28	AVT
オンリー ロンリー グローリー	BUMP OF CHICKEN	2004.07.07	TF

#### ● ゴールド

ALL FOR YOU	安室奈美恵	2004.07.22	AVT
Happy Days	大塚 愛	2004.07.07	AVT
mirage in blue／いとしの人	CHEMISTRY	2004.07.07	DF
Shade	Dragon Ash	2004.07.14	V
番場の忠太郎	氷川きよし	2004.07.07	C
FUKUYAMA PRESENTS 虹~もうひとつの夏~	福山雅治	2004.07.28	UM
名前のない空を見上げて	MISIA	2004.07.07	AVT
女子かしまし物語	モーニング娘。	2004.07.22	EP
栄光の架橋	ゆず	2004.07.22	SN
GALAXY	RIP SLYME	2004.07.07	WJ

### ビデオ

#### ● ゴールド

Utada Hikaru in Budokan 2004 ヒカルの5	宇多田ヒカル	2004.07.28	TO
KinKi KISS2 Single Selection	KinKi Kids	2004.07.14	JE

## 洋楽

### アルバム

#### ● トリプル・プラチナ

冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック	Ryu / Sun	2003.07.04	JK
------------------------------	-----------	------------	----

#### ● プラチナ

DISCO FINE -PWL HITS and Super Euro Trax-	VARIOUS	2003.07.23	BMG
---	---------	------------	-----

#### ● ゴールド

グッ・トゥー・ゴー	エレファント・マン	2003.12.17	WJ
期別	バク・ヨンハ	2004.06.16	PC
アフロディリアック	ブランディー	2004.06.30	WJ
ダンスホール・ラヴァーズ	VARIOUS	2004.05.26	TO



冬の恋歌(ソナタ)ドラマ・オリジナル・サウンド・トラック/Ryu / Sun



瞳をとじて/平井 堅



Sign/Mr.Children



PORNO GRAFFITTI BEST RED'S/ボルノグラフィティ



PORNO GRAFFITTI BEST BLUE'S/ボルノグラフィティ



ロコローション/ORANGE RANGE



桜/河口恭吾



希望~Yell~/NEWS

左上から右へ、トリプル・プラチナのアルバム/シングル、ダブル・プラチナのアルバム/シングルの順。

※ダブル・プラチナ(50万枚)以上の認定を受けた作品のジャケット写真を紹介します。

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/AVT:エイベックス/BG:ビーグラムレコーズ/BM:バーミリオンレコード/BMG:BMGファンハウス/C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリミュージック/EP:アップフロントワークス(ゼティマール)/ES:EPICレコードジャパン/FL:フォーライフミュージックエンタテイメント/GZ:ギザ/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテイメント/JK:ユナイテッド・アジアエンタテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビー・ヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PY:プラチア・エンタテインメント/PZ:ビザ・オブ・デス・レコーズ/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TO:東芝EMI/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー・ジャパン

## 協会からのお知らせ

BPI(イギリスレコード協会)のウェブサイトでは、各種統計、法律関連情報、教育活動など多岐にわたるコンテンツを掲載しています。



<http://www.bpi.co.uk>

## Respect Our Music

THE RECORD No.538 2004年9月号

社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 佐藤 修  
編集人 田辺 攻  
発行日 2004年9月10日  
社団法人 日本レコード協会  
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F  
TEL. 03-6406-0510(代) FAX. 03-6406-0520(代)  
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフビーアイ・コミュニケーションズ

**R100**  
古紙配合率100%再生紙を使用しています

### 編集後記

輪島に行ってきました。名物の朝市では、通りにびっしりと並ぶ出店からの「買うてくださ」の声に呼び止められ、両手いっぱいのおみやげを買ってしまいました。

(R.O)